

**2019年度AO選抜 食マネジメント学部**  
**「プレゼンテーション方式」**

---

**【選考講評】**

**1. 実施状況**

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
食マネジメント学科	54	24	11

**2. 試験内容**

(1) 第一次選考

書類選考（エントリーシート・課題論文）

- エントリーシート「食マネジメント学部を志望した理由」および「食マネジメント学部で学んだことをどのように社会で生かして活躍したいか、いま考えていること」
- 課題論文テーマ「『食の人类的・社会的課題』について、あなたの考えを自由に論述してください（2,000字以内）」

第一次選考では、このエントリーシートおよび課題論文の内容について、総合的に評価を行いました。

(2) 第二次選考

プレゼンテーション試験および面接試験

- プレゼンテーションテーマ「食マネジメント学部で、学びたいことと活動していきたいこと」

なお、プレゼンテーションについては、事前に資料を準備した上で、ポスターもしくはパワーポイントを用いて10分程度のプレゼンテーションを行いました。

- 面接試験については、志望理由等を尋ねました。

第二次選考では、午前中にプレゼンテーション試験を行った上で、午後に面接試験を行い、これらの内容について総合的に評価しました。

**3. 出題の意図**

(1) 第一次選考

エントリーシートでは、食マネジメント学部での学びへの意欲と、学部教育内容の理解を把握することを意図しました。課題論文では、食に関わる幅広い知的好奇心や問題意識、また論理的な思考力や表現力、また基礎的な知識を把握することを意図しています。

## (2) 第二次選考

プレゼンテーション試験では、表現力やコミュニケーション力、行動への意欲等を把握することを意図しました。面接試験では、食科学への理解・学ぶ意欲・問題意識、思考力や判断力等を把握することを意図しています。

## 4. 評価のポイント

### (1) 第一次選考

第一次選考においては、エントリーシートにおいて、学部の学びや特色を理解しているか、学びへの積極的な意欲が見られるか、食マネジメント学部が提供する学びと自ら学びたいことが違っていないか、を主な評価ポイントとしました。また、課題論文においては、テーマに沿って論理的な記述力、設定したテーマに関して基礎的な知識を得ようとする知的好奇心が見られるか等を評価ポイントとしました。

### (2) 第二次選考

第二次選考のプレゼンテーション試験においては、「学びたいことと活動していきたいこと」について、熱意を持って説得的に伝えられるかどうか、が主な評価のポイントとなりました。伝えるために必要となる論理的な表現力やプレゼンテーションの構成も評価のポイントとしました。

面接試験においては、志望理由や課題論文等について聞き、食マネジメント学部での学びの理解度や、自分の言葉を用いて質問を理解した上で、質問に対して適確に答える力を評価のポイントとしました。

## 5. 解答状況

### (1) 第一次選考

エントリーシートにおいては、食マネジメント学部において、様々な分野の学びに積極的に取り組んでいきたい受験生、将来の目標を見据えた上で志望理由を述べた受験生、活動してきた中で得た疑問を解決していきたいという受験生など、多様な回答がありました。多様な動機がありますので、個々の食への興味関心などに応じて、説得的に書いてあれば、評価は高くなります。

課題論文においては、「人類的・社会的課題」について、地域の社会的課題や食の持つ飢餓などの課題、また健康に関わる課題など多様なテーマが見られました。ただし、この設定したテーマについて、背景となるデータや事例を示して論理的に記述できているかどうか、という点で差が出ました。課題論文として、客観的にテーマを証明するためのデータや事柄を記述できているかどうか、という点は基礎的な知識や知的好奇心といったポイントとして、評価で大きな差が出ました。論理構成や主張が明確でなかった論文もあり、この場合は大きな減点の対象となりました。

## (2) 第二次選考

プレゼンテーションにおいては、単に情報を調べて構成するだけでなく、テーマに関することについて、現地を訪ねる、実際に活動に参加する、調査を実施する、といった取り組み内容から構成されたものが多くありました。プレゼンテーションの構成や表現力については、事前に十分な準備がなされていて、あまり差がつきませんでした。評価としては、本入試の目的を満たすため、最初に述べたような積極的な活動内容を含んだプレゼンテーションが高評価となっています。

面接試験においては、自分の言葉を用いて熱意を持って食マネジメント学部で学びたいことを話せる受験生もいましたが、自分の言葉で的確に伝えきれない受験生もいました。特に、食に関わる学びの広がりについては、理解度に差がありました。評価としては、食マネジメント学部での学びについて理解した上で、熱意をもって自分の言葉で伝えられた受験生が高評価となっています。独自の学びをもつ学部ですので、学部の学びへの自分なりの理解は欠かせません。

## 6. 次年度受験生へのアドバイス

食マネジメント学部の AO 入試（プレゼンテーション方式）は、第一次選考における 2,000 字の課題論文、第二次選考におけるプレゼンテーション試験を課しており、事前に十分な準備と心構え、そして何よりも食への興味・関心・意欲が重要です。このため、ただ単に与えられた課題をこなすような受験の準備では、高評価を得ることは困難です。

そこで、本入試方式を志願したいと考えている人は、食に関わる知的好奇心を持って、さまざまな課題について、よく調べて考えてください。自分で調べたことや、自分なりの経験・体験を論理的かつ明確に整理して、実社会の仕組みや課題を理解することが大切です。そのことで、本入試の課題論文やプレゼンテーションに取り組みやすくなると同時に、本学部での学びや活動が、より具体的な目標として明確になるでしょう。

以上